

プレスリリース

ボッシュパッケージングテクノロジーからシンテゴンテクノロジーへ

- 新会社設立の手続きは計画通り完了し、安定的な事業開発を維持
- 新ブランドと新たなミッション：プロセス・包装技術により生活の向上に貢献
- 今後はより柔軟な事業展開が可能に
- インテリジェントかつサステナブルな技術に注力
- サービス提供範囲を拡大

プロセス・包装機械部門のマーケットリーダーとして、シンテゴンテクノロジーが誕生しました。2019年末までボッシュの包装機械事業部であったボッシュパッケージングテクノロジーは、ヴァイプリングエン（ドイツ）に本社をもつ企業として独立し、今後はシンテゴンテクノロジーとして医薬品・食品分野におけるインテリジェントかつサステナブルな技術を中心に事業を展開します。また、サービス範囲の拡大を優先的に取り組みます。

新会社として再始動

2019年7月にボッシュが大手プライベート・エクイティ企業かつ投資顧問会社のCVCキャピタルパートナーズへの包装機械部門の売却計画を発表、2020年1月2日に売却手続きが完了しました。その間、ヴァイプリングエン（ドイツ）の本社機能を拡充して独立に必要な部署を設置するなど準備を進めてきました。低調な機械エンジニアリング領域にありながら、中間決算時の事業成績は安定しており、2019年度の売上は13億ユーロとなり前年の水準を維持しました。

新たなオーナーであるCVCは、会社全体の発展とグループ内のシナジー拡大に積極的に取り組むとし、同社のMarc Strobel氏は次のように述べています。「CVCは計画通りに売却が完了したことを嬉しく思っています。シンテゴンテクノロジーは多くのマーケットセグメントで強い存在感があり、すばらしい技術的ノウハウと革新力をもっています。経営陣や従業員の皆さんとともに、これらの強みをさらに強化したいと思います。」

未来を見据えた新ブランド

「プロセス・包装技術により生活の向上に貢献する」 - これがシンテゴンのミッションです。シンテゴンはインテリジェントかつサステナブルなプロセス・包装ソリューションにより、消費者や患者様の生活向上に貢献することを使命としています。

数ヵ月間の月日をかけて新たな企業ブランドが開発されました。シンテゴンとは、Synergy（シナジー）、Technology（技術）、そしてFocus on the future（未来を見据える）を意味しています。新たなイメージカラーの緑色は、サステナビリティと健康の重要性を強調しています。また、新デザインのロゴの四角形は、包装と包装技術による製品保護能力を象徴しています。

2020年1月16日には新会社の船出を祝うイベントを世界各国で同時に開催いたしました。ドイツ本社での式典が生中継され、すべてのイベント会場に配信されました。最高経営責任者であるDr. Stefan Konigは「我々には150年の歴史と、お客様の工場に設置された64,000台の機械納入実績があります。新たな事業展開の道を追求し、以前にも増して、インテリジェントかつサステナブルな技術に取り組み、ビジネスパートナーとの協力関係を構築していきます。」とビジョンを明確に示しました。

よりフレキシブルな事業展開とパートナーシップの構築

シンテゴンテクノロジーはボッシュからの独立により、一層の柔軟性を手に入れました。本社に購買部門やIT部門を新たに立ち上げ、社内各部署の結びつきをより強固にし、顧客やサプライヤーとのコミュニケーションを促進します。かつては多様な事業部を擁する大組織の一部でしたが、今後はさらに業界に適応した事業体制を構築することができます。新たな環境のもと、プロセス・包装技術のリーディングカンパニーとしての地位を強化することが可能となります。

シンテゴンテクノロジーは今後、サービスの拡充に優先的に取り組み、お客様にとって信頼あるパートナーを目指して改善活動に努めます。一例として、お客様の問合せに対する回答時間の短縮やフィールドサービスの迅速化を図っていきます。また、ヴァイプリング本社のカスタマー・テクノロジーセンターに投資しており、グローバル企業や地域のマーケットリーダーと連携し、中規模の企業や新興企業に向けて、より魅力的なサービスの提供を目指します。

インテリジェントかつサステナブルな技術

シンテゴンテクノロジーはインテリジェントかつサステナブルな技術開発を重点的に取り組んできました。IoTやAI技術を活用し、ソフトウェアソリューションの開発と実装における豊富な経験を最大限に活かしていきます。同時に、最先端技術をシンプルに使いやすくすることも重視しています。データの収集・分析により、ダウンタイムの低減、「最高」品質の追求、生産性の向上が最大の目標です。

シンテゴンはサステナブルな包装を実現する2つの道を追求しています。1つは、従

来の多層フィルムではなく単一素材を使用すること、もう1つはプラスチックの代替として紙包装を使用することです。材料試験の実施や機械構成に加え、製品・輸送方法・地域環境の要件を満たすよう設計した革新的な包装を提供することにより、サステナブルな未来を目指すお客様をサポートいたします。

数字が語る信頼の歴史

シンテゴンテクノロジーの英語版ウェブサイト (www.syntegon.com/numbers) では、「数字で見るシンテゴン」について紹介しています。2020年5月にはデュッセルドルフで開催される展示会「インターパック」にて、新たなブランドイメージでご案内いたします。

写真:



1: ヴァイブリンゲン（ドイツ）のシンテゴン本社



2: シンテゴンテクノロジー 最高経営責任者
Dr. Stefan König



3: シンテゴンロゴ

お問い合わせ窓口

Patrick Löffel

Corporate spokesperson Syntegon Technology

+49 7151 14 2732

patrick.loeffel@syntegon.com

シンテゴンテクノロジーについて

シンテゴンテクノロジーは、グローバルに事業展開するプロセス・包装機械のリーディングサプライヤーです。ボッシュの包装機械事業部であったボッシュパッケージングテクノロジーとして、50年に渡り医薬品および食品分野における技術を中心に事業を展開し、2020年1月からは、ヴァイブリンゲン（ドイツ）に本社をもつ企業として独立しました。シンテゴンテクノロジーは、世界15か国以上で30を超える拠点を構え、従業員数は合計6,100名に上り、2019年の売上は13億ユーロとなりました。スタンドアロン機、一貫したシステム設備、サービスなどを含め、インテリジェントかつサステナブルな技術を提供しています。医薬品産業向けには、液剤および固形剤の製造ライン（製剤、充填、検査、2次包装など）に向けた機械やソリューションを提供しています。食品業界向けには、製菓用プロセス技術をはじめ、ドライフード（バー菓子、焼成菓子、コーヒーなど）、冷凍食品、乳製品を対象とした包装ソリューションなど、幅広い製品およびサービスを提供しています。